◆狭山市野球連盟のあゆみ(平成元年度~平成30年度)◆

平成元年度	留のあゆみ(平成元年度~平成 30 年度)▼ サギノミヤ狭山、国体県予選優勝、県会長杯優勝。本田狭山も国体県予選準
1,790011	決勝に進出。
	埼玉県西部連合会の審判講習会を3月に狭山支部にて行う。1泊2日で宿泊先
	は智光山荘、会場は鵜ノ木グランド。モデルチームをサギノミヤ狭山と本田狭
	山に依頼した。
平成2年度	連盟登録チーム(一般)が増え続け、75 チームとなる。企業チームが多くを
	占める。
	サギノミヤ狭山、国体県予選準決勝進出。2部の八千代工業が春季大会準優勝、
	秋季大会優勝と活躍する。
	少年部では、選手の拡大を狙いCリーグの大会を開催する。初年度優勝:富
	士見ビクトリー。
平成3年度	サギノミヤ狭山、国体県予選準優勝。
	市内では、Bクラス・ビクトリー、Cクラス・スッポンが活躍する。連盟登
	録チーム (一般) は80チームになる。
	県秋季中学大会で堀兼中学校が準優勝となる。
平成4年度	山本栄一郎氏他 26 名の連盟関係OBの方々を招待し、懇親会を実施(9 月)。
	Bクラス企業チーム・レスキュー、Cクラスクラブチーム・フェニックスが
	活躍する。若手を中心とした鷺宮製作所狭山硬式野球チームが創部。
	県秋季中学大会で堀兼中学校が準優勝となる。
平成5年度	Aクラス・コスモ、Bクラス・エグザスブルートが活躍する。中学、高校の
	OB等、若い選手のチームが増え始める。
	佐藤剛選手(狭山ライオンズ・狭山西中学校出身)が本田技研和光から広島
75-12 o F F	東洋カープへ入団する。
平成6年度	市内で活躍の目立った本田四親会が、並みいる県Aクラスを撃破し、国体県
	予選準決勝に進出する。
	また、B・Cクラスの若手クラブチーム、ハラダーズ・ウィナーズ・狭山水 産デンジャラス等が活躍する。
	産アンシャプス等が店踊りる。 堀兼中学校が春季中学県大会で準優勝し、関東大会に出場する。
 平成 7 年度	##中子校が春学中子県人会で平陵勝し、関東人会に山場りる。 サギノミヤ狭山が国体県予選で優勝し、関東大会の 2 回戦まで進出した。ま
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	ウィノミヤ狭田が国体県丁選で優勝し、関東人芸の 2 回戦まで進出した。ま た、天皇杯県予選でも優勝し、全日本大会 2 回戦まで進んだ。
	市内では、前年度に続き、本田四親会が活躍。Aクラス2大会を制し、西部
	地区・県大会で活躍する。
 平成 8 年度	アトランタオリンピック野球競技の代表に、狭山市出身の野島正弘選手(入
1,770	間川ベアーズ・入間川中学校出身)が選ばれ活躍する。
	県Aクラスのサギノミヤ狭山は、予選なしで県大会への出場が認められる。
	本木会長が勇退され、新会長に武藤氏が選出される。
	国体県予選でサギノミヤ狭山が準優勝の成績を挙げる。また、少年部では、
	富士見ビクトリーが市内の全大会を制した。
L	l

平成9年度	市内一般の登録チームが90を数える。
	Aクラス・日本電波、Bクラス・本田WBC、Cクラス・サン精機が活躍。
平成 10 年度	市内では、本田WBC・ウィナーズ・クールズ等クラブチームが活躍する。
	2回目の連盟関係OBとの懇親会を7月に実施する。(OB:綿貫、井上氏他
	28 名参加)
	国体成年の部(40歳以上)に「オール狭山」を連盟にて編成し、活躍を期待
	する。
	埼玉県西部連合会の会長に武藤氏、理事長に宮寺氏が就任。
	少年部では、富士見ビクトリーが市内全大会を制す。
平成 11 年度	連盟登録チーム(一般)が100近くになり年3回の大会運営に四苦八苦する。
	本田技研の職場チーム、本田WBCが活躍。高松宮賜杯県予選 1 部準優勝、
	井ケ田杯で準優勝の成績を収める。
	埼玉県西部連合会の審判講習会が 3 月に狭山市で行われる。会場は鷺宮製作
	所狭山工場内グランド。モデルチームは鷺宮狭山(硬式)と狭山清陵高校に依
	頼し、講師は東泉主任講師以下県連審判員が行った。
	埼玉県野球連盟 50 周年表彰に、個人では武藤会長他 10 名、チームではサギ
	ノミヤ狭山が選出される。
	少年部では、富士見ビクトリーが市内全大会を制す。
平成 12 年度	鷺宮製作所狭山硬式野球部が、強豪ひしめく関東地区予選を勝ち抜き、全日
	本選手権(大阪)に出場する。
	市内大会では、コニカシステム機器が春、夏、秋の3大会に優勝する。コニ
	カシステム機器・本田狭山が県大会で活躍する。
	北川智規選手(水富セネタース・狭山西中学校出身)が横浜国大を経てオリ
	ックスブルーウェーブに入団する。
平成 13 年度	少年部の活躍が目立つ。富士見ビクトリーが県大会の日ハム杯(少年部新人
	戦)で優勝。他市は選抜チームが多い中で立派な成績を残す。
	国体県予選でサギノミヤ狭山が準優勝を収める。
	鷺宮製作所狭山硬式野球部休部。
	狭山ロビンス・新小少年野球スポーツ少年団初優勝。
平成 14 年度	連盟の若返り、年 3 大会の維持、審判員の確保を目的として、Aクラスを
	A1 (8 チーム)、A2 (8 チーム) の 16 チームとし、春の大会をトーナメント、
	夏・秋でリーグ戦として試合を充実させた。
	12月に連盟の発展にご尽力された、前会長の本木欣一氏が永眠。
	少年部で柏原アローズが初優勝を飾る。
平成 15 年度	Aクラスの各試合の個人記録を収集する。
	A1リーグ優勝:コニカ、最優秀選手:糊倉尚裕、A2リーグ優勝:クールズ、
	最優秀選手:信田晃。
	Bクラスも年間リーグ戦(16 チーム)に移行。
	全国高等学校野球選手権大会で、聖望学園高校の当市出身の5選手が活躍。

	サギノミヤ狭山が国体県予選で準優勝を収める。
	河野友軌選手(狭山台キングス・狭山台中学校・狭山清陵高校出身)が横浜
	ベイスターズに入団する。
平成 16 年度	オリンピック年。金メダルラッシュに日本中が興奮した。
	本拠地を和光市から狭山市に移した本田技研工業硬式野球部が、狭山市の代
	表として初めて都市対抗野球大会に出場し、準優勝を成し遂げた。
	埼玉県で第59回国民体育大会が開催された。鷺宮製作所狭山が軟式野球一般
	Bに出場し、準優勝を飾る。
	A1 リーグ優勝:ファットマン、最優秀選手:箕輪浩伸、A2 リーグ優勝:第
	3 野球部、最優秀選手:馬場隆博。
平成 17 年度	創立 50 周年記念祝賀会の準備を進める。
	2月に埼玉県西部連合会の審判長を講師に招き、一般部・少年部合同審判講習
	会を狭山工業高校で行う。モデルチームは、狭山工業高校及び狭山清陵高校。
	中学野球記念大会は、4月に11校を招待し開催した。20年ぶりに狭山市(柏
	原中学校)が優勝を飾る。
	8月から10月にかけて、一般部が連盟創立50周年記念大会を市内オープン大
	会として実施する。また、10月には少年部の記念大会(市外招待8チーム)を
	実施した。
	11 月に狭山東武サロンにて、連盟創立 50 周年記念祝賀会を実施。
平成 18 年度	体育協会が 50 周年を迎える。各種大会を体協 50 周年の記念大会として実施
	した。
	中学大会の決勝は招待校同士の対戦となり、優勝が加治中(飯能市)、準優勝
	が黒須中で幕を閉じた。
	少年部は各大会で優勝チームが異なる混戦であった。
	A1 リーグ優勝:マンキース、最優秀選手:安武十吾、A2 リーグ優勝:クー
	ルズ、最優秀選手:土山法章。
平成 19 年度	航空自衛隊入間が、高松宮賜杯西部地区大会を勝ち抜き、県大会でも準決勝
	に進出する健闘をみせた。
	中学大会は前年度に引き続き、招待校同士の決勝となる。優勝は所沢東中(所
	沢市)、準優勝は初雁中(川越市)。
	A1クラスは本田技研埼玉が、A2クラスはアパッチが安定した力を発揮し、
	各大会で好成績を収める。また、Cクラスは山王 SUNS が春・夏・秋の3大会で
	優勝を飾り、連盟から優秀チームとして表彰を受けた。
	A1 リーグ優勝:本田技研埼玉、最優秀選手:清水賢輔、A2 リーグ優勝:ミ
	ッツ、最優秀選手:菱川浩直。
平成 20 年度	A1 クラスはコスモが、A2 クラスはクールズがリーグ戦を制する。また、秋
	季大会としてA・Bクラス合同トーナメント大会を行い、優勝はA1のロジャー
	ス、準優勝はA2の狭山茶学園。
	Cクラスは各大会とも優勝チームが異なる混戦であった。春季大会はグルー
L	l .

	バーズ、夏季大会は侍ウィナーズ、秋季大会はスタープレーヤーズが優勝。
	中学大会は市内校同士の決勝。優勝は入間中、準優勝は山王中。
	A1 リーグ最優秀選手:清水賢輔 (コスモ)、A2 リーグ最優秀選手:土山法
	章(ファットマン)。
平成 21 年度	A1クラスのコスモが、埼玉県下選抜大会で第3位となる。
	中学大会の優勝は南陵中(所沢市)、準優勝は狭山台中(狭山市)。
	A1クラスはファットマンが、A2クラスは第3野球部がリーグ戦を制する。
	また、A・Bクラス合同トーナメントは、A1クラス同士の決勝となり、優勝は
	コスモ、準優勝はホンダ埼玉となった。
	Cクラスの春季大会は STAR PLAYERS、夏季大会は八千代工業、秋季大会はバ
	ーバリアンズが優勝を飾る。
	A1 リーグ最優秀選手:佐野文人(ファットマン)、A2 リーグ最優秀選手:
	土本慶太 (第3野球部)。
平成 22 年度	A1クラスはコスモが、A2クラスはロジャースがリーグ戦を制する。
十成 22 千皮	A・Bクラス合同トーナメントの決勝は、コスモとホンダ埼玉が、2年連続で
	決勝に進み、ホンダ埼玉が熱戦を制し、昨年の雪辱を果たす。
	本年度からC1クラスを創設。春・夏とも優勝・あぶらや、準優勝・白虎。秋
	季大会は、C2クラスから昇格の狭山神経内科病院が制した。
	C2 クラスは春季大会・狭山神経内科病院、夏季大会・狭山アンビュランス、秋
	季大会・小岩井パワーズが優勝を飾る。
	中学大会は、優勝・狭山中央中、準優勝は福原中(川越市)。
	A1 リーグ最優秀選手:土屋栄一郎 (コスモ)、A2 リーグ最優秀選手:安武
	十吾(ロジャース)。
平成 23 年度	A1クラスはコスモと本田技研埼玉が同率優勝、A2クラスは狭山市役所がリ
	ーグ戦を制する。
	会長杯争奪狭山選手権(トーナメント)は、本田技研埼玉とアパッチが決勝
	に進み、本田技研埼玉が熱戦を制し、2年連続の優勝を果たす。
	C1クラスは春季大会・トンネルズ、夏季大会・甚作、秋季大会・スッポンが
	優勝、C2クラスは春季大会・熱血!リベンジャーズ、夏季大会・エアサプライ、
	秋季大会・野球部が優勝を飾る。
	中学大会は第30回の記念大会であったが、東日本大震災の影響によりやむな
	く中止とした。
	A1 リーグ最優秀選手: 岡本和徳 (コスモ)、A2 リーグ最優秀選手:加藤善
	弘(狭山市役所)。
平成 24 年度	A1クラスはコスモが、A2クラスはクールズがリーグ戦を制する。
1/24 - 1 1/2	会長杯争奪狭山選手権(トーナメント)は、早々に多くのA1チームが敗れる
	波乱の展開となり、レスキューとファットマンが決勝に進出、レスキューが熱
	戦を制し、初優勝を果たす。
	B1クラスはRAPTORSが、B2クラスはスッポンがリーグ戦を制する。

C1 クラスは春季大会・ヒーローズ、夏季大会・ザ・フリーウエイ、秋季大会・ Dタイガースが優勝、C2クラスは春季大会・ベンチプレス、夏季大会・Dタイ ガース、秋季大会・謎球会が優勝を飾る。 中学大会は、優勝・柳瀬中(所沢市)、準優勝は狭山東中。 A1 リーグ最優秀選手:岡本和徳 (コスモ)、A2 リーグ最優秀選手:土山法 章 (クールズ)。 平成 25 年度 A1クラスは2年連続でコスモ、A2クラスはミッツがリーグ戦を制する。 会長杯争奪狭山選手権(トーナメント)は、本田技研埼玉と狭山市役所が決 勝に進出、本田技研埼玉が熱戦を制し、2年ぶりの優勝を果たす。 B1クラスはスッポン、B2クラスは小岩井パワーズがリーグ戦を制する。 C1クラスは春季大会:謎球会、夏季大会:エクスプレスⅡ、秋季大会:JASTICE が優勝、C2クラスは春季大会: JASTICE、夏季大会: P.B.、秋季大会: WILD HOGS が優勝を飾る。 本年度より開催した、成年大会はポッパーズが初優勝を果たす。 中学大会は、優勝・狭山中央中、準優勝・狭山台中。 A1 リーグ最優秀選手:岡本和徳 (コスモ)、A2 リーグ最優秀選手:菱川浩 直(ミッツ)。 平成 26 年度 A1クラスは本田技研工業㈱、A2クラスはマンキーズが制する。 会長杯争奪狭山選手権(トーナメント)は、本田技研工業㈱とスッポンが決 勝に進出、本田技研工業㈱が2年連続の優勝を果たす。 B1クラスはスカイドルフィンズ、B2クラスはJusticeが優勝を飾る。 今シーズンから、Cクラスにおいてもリーグ戦を取り入れ、C1-1 はプラチナ、 C1-2 は茶ッパーズ、C1-3 はプラチナシルバー、C1-4 は白虎がそれぞれ優勝 を飾り、C2-1 は NEXAS、C2-2 は narrow mountain、C2-3 はばってんがが優勝 を飾った。また、Cクラス秋季大会(トーナメント戦)は、C1 が西武商事㈱、 C2はNEXAS が優勝を飾る。 第2回成年大会はポッパーズが2年連続の優勝を果たす。 中学大会は、優勝・野田中(入間市)、準優勝・飯能第一中(飯能市)。 A1 リーグ最優秀選手:大槻隼人(本田技研工業㈱)、A2 リーグ最優秀選手: 原田大輔(マンキーズ)。 A1クラスは2年連続で本田技研、A2クラスはポッパーズが初優勝を果たす。 平成 27 年度 会長杯争奪狭山選手権(トーナメント)は、連盟創立60周年記念大会として、 AクラスからCクラスまでの全登録チームのトーナメント戦を実施し、コスモ とレスキューが決勝に進出、コスモが優勝を飾る。 B1クラスは八千代工業、B2クラスはバスターズが優勝を飾る。 昨シーズンから実施しているCクラスのリーグ戦は、C1-1 はエスファミリ 一、C1-2 は P・B、C1-3 は LAGERS、C1-4 は Star Players がそれぞれ 優勝を飾り、C2-1 はボイルドスピナッチ、C2-2 は JOHNSON、C2-3 はレンジ ャースが優勝を果たした。

第3回成年大会はポッパーズが3年連続の優勝。 中学大会は、優勝・飯能第一中(飯能市)、準優勝・三ヶ島中(所沢市)。 A1 リーグ最優秀選手:田爪晃司(本田技研工業)、A2 リーグ最優秀選手: 今田智也 (ポッパーズ)。シーズン終了後、連盟創立 60 周年記念祝賀会を狭山 東武サロンにおいて盛大に開催した。 A1クラスは3年連続で本田技研工業(株)が、A2クラスはファットマンが 平成 28 年度 優勝を果たす。 会長杯争奪狭山選手権(トーナメント)は、エクスプレスⅡとBクラスの LAGERS が決勝に進出、エクスプレスⅡが初優勝を飾る。 B1クラスはLAGERS、B2クラスは白虎が優勝する。 平成 26 年度から実施しているCクラスのリーグ戦は、C1-1 はブラックソッ クス、C1-2 は山王 SUNS、C1-3 は WILD HOGS、C1-4 はフライヤーズがそれぞ れ優勝を飾り、C2-1はばってんが、C2-2は西武商事が優勝を果たした。 第4回成年大会はポッパーズが4年連続の優勝を果たす。 中学大会は、優勝・鯨井中(川越市)、準優勝・日本大学第二中(杉並区)。 A1 リーグ最優秀選手:小田原康裕(本田技研工業)、A2 リーグ最優秀選手: 箕輪浩伸 (ファットマン)。 平成 29 年度 A1クラスはLAGERS、A2クラスはスッポンが優勝を果たす。 会長杯争奪狭山選手権(トーナメント)は、コスモとエクスプレスⅡが決勝 に進出、コスモが自衛隊対決を制する。 B1クラスは白虎、B2クラスはFlyers が優勝。 平成26年度から実施しているCクラスのリーグ戦は、C1-1は西武商事㈱、 C1-2 はアスピラーズ、C1-3 は山王 SUNS がそれぞれ優勝を飾り、C2-1 は JOHNSON、C2-2 は LIBERO、C2-3 は BATS が優勝を果たした。 第5回成年大会はポッパーズが5年連続の優勝。 中学大会は、優勝・中央中(狭山市)、準優勝・堀兼中(狭山市)。 A1 リーグ最優秀選手:横山俊輔 (LAGERS)、A2 リーグ最優秀選手:新井智 浩(スッポン)。 A1クラスはエクスプレスⅡ、A2クラスは八千代工業が優勝を果たす。 平成30年度 会長杯争奪狭山選手権(トーナメント)は、Flyers とクールズが決勝に進出、 Flyers が制する。 B1クラスはWILD HOGS、B2クラスは小岩井パワーズが優勝。 Cクラスのリーグ戦は、C1-1 は狭山茶ッパーズ、C1-2 は狭山メジャーズ、 C1-3 は LIBERO がそれぞれ優勝を飾り、C2-1 はスクラッチ、C2-2 は野球倶楽 部ノアが優勝を果たした。 第6回成年大会は、ポッパーズが第1回大会から6年連続で優勝。 中学大会は、優勝・入間野中(狭山市)、準優勝・中央中(狭山市)。 A1 リーグ最優秀選手:山澤大樹(エクスプレスⅡ)、A2 リーグ最優秀選手:

亀山貴光 (八千代工業)。